

2024年(令和6年)

第76号

(9月4日)



発行所：立正佼成会 京都教会  
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄  
 編集委員長：渉外広報 植田恭司  
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230  
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

## 東伏見 慈晃 門主の戸津説法を拝聴 ～大津市の東南寺にて～

天台座主への登竜門とされる戸津説法が 21 日から琵琶湖畔の天台宗東南寺（大津市）で始まり、京都教会の東教会長はじめ教会幹部 10 名は 24 日に拝聴しました。

今年の説法師は青蓮院門跡（京都市東山区）の東伏見 慈晃（じこう）門主が指名され、拝聴した 24 日は法華経第 8 巻である観世音菩薩普門品第 25 から普賢菩薩勸発品第 28 までを説法されました。



当日の参加者のほとんどが一日限りの参加であったことから、法華経全体の構成や成立に至るまでの経緯、日本に伝わるまでの解説をされた中で、天台大師が「五時八教」という天台教判にまとめられたことを紹介されました。

比叡山を母山として多くの高僧、宗派ができ、その教えのもとに開かれた新宗教の紹介もされ、霊友会、創価学会、立正佼成会などの教団についてもふれられました。

観世音菩薩普門品第 25 の説法では、観音さまがその身を三十三のお姿に変えて現れる、観音さまの働きについての解説があり、普賢菩薩勸発品第 28 では四

法成就についてふれ、「心の底から仏を信じる」ことが 1 つめで、これが出来ないと入り口のところからアウトだと述べると参加者は大きくうなずいた様子でした。

法華経には何が書かれているかということ振り返り、はじめのポイントは方便品第 2 にあるとし、三止三請、十界互具、十如是、諸法実相を簡潔に述べられたあと、般若心経の「空」の解説をされました。空については①不生不滅、②不垢不浄、③不増不減であるとし、それぞれについて平易な言葉で説法されました。

「不生不滅」は良きも悪くも変化すること。くよくよしない、あきらめがなく、冷静に受け止めること。どうしようもないことは、どうしようもないと日頃の生活に当てはめられました。

「不垢不浄」では薬草論品の大小の草木の例えについてふれ、雨は平等に降り注ぐように私たちには平等に時間があるが、現代人は時間を無駄にしていないかと問われました。また経営者は損か得かと考えがちだが、まずはお客さまを中心に考えることの大切さ、製品の性能が良い、安価なもの、納期が早いなど、お客さまのため人のための考え方が、損か得かの前に大切なことだと説法されました。

「不増不減」は  $E=mc^2$  というアインシュタインが発見した法則について述べ、この法則そのものは発見される前からあったものだと解説されました。

締めくくりとして、今まで述べてきたことは「仏と仏しか分からない」と方便品第 2 を引用しながら、私たちは一隅を照らす人材を育成することが大切で、それが国の力を強くすることだとされました。

参加した教会幹部は、自身の日頃の行いを見つめながら、非常に充実した時間を過ごせたようでした。

## 京都教会ビデオレター9月号 配信中 ～東教会長発～

ビデオレター9月号が京都教会のホームページで公開されています。パスワードは各支部長にご確認下さい。  
<https://rkk-kyoto.jp/archive1/20240901/>



左記の QR コードをスマートフォンで読んで、ご覧頂くことも出来ます。地区単位、各家庭においても視聴し、1ヶ月の修行目標とさせて頂きましょう。

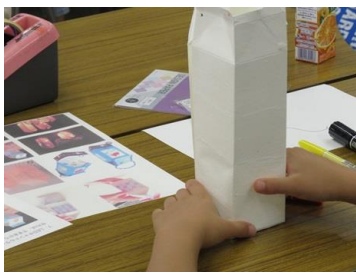
令和6年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/> (右のQRコードからご覧頂けます)



## 少年部 1泊2日の夏まつり ～すべてが手作りの温かいお泊り会～

京都教会少年部は8月3～4日、1泊2日の「夏まつり」を開催したところ65名の参加がありました。久しぶりのお泊り会ということもあり、運営する青年部スタッフも感覚を取り戻せていない中、盛り沢山のスケジュールが組まれ、少年部員は大変楽しかったようでした。

1日目は集合直後から体を動かすレクリエーション。早速、笑い声で体育館はいっぱいになりました。その後、夜の集いで使用する「あんどん」を各自で手作り。使用済み牛乳パックを再利用した、思い思いの個性あふれる「あんどん」に仕上がりました。続いて、マリオカート大会ではプロジェクターで部屋の壁にゲーム画面を投影し、日頃、自宅では出来ないような臨場感たっぷりの白熱したゲームを行ないました。夕食、入浴後に、夜のつどいを実施。体育館の照明を落とすと手作りの「あんどん」が綺麗に点灯し雰囲気盛り上がりしました。



2日目は開祖さまご命日のため、9時の聖壇役員を少年部員が行ないました。3役のところ多くの立候補者があり、副導師も務めるなど、初めてのことに楽し

んでチャレンジする姿に参拝者も温かい目で見守りました。役員を務めた少年部員は「間違っていたところもあったけど、成功したところもあった。緊張したけど出来てよかった」、「ズレたところを直していきたい」、「初めてやったけど頑張りました」、「結構間違えたけど出来てよかった」、「楽しかった」など、前向きな感想に法座席は大きな拍手で包まれました。また、ご命日の時間を利用して、1日目の様子をスクリーンに投影し報告会を行なったほか、参拝者全員で体を動かしました。



その後、少年部員はレクリエーションを行ない、昼食は各自手作りのハンバーガーで楽しみながら食事をとった後、おわりの会で締めくくりました。

2日間参加した少年部員からは「みんなと出会えて嬉しかった」、「色んな遊びが楽しかった」など。またスタッフ側のお手伝いとして入った学生部員からは「今までは参加して楽しませてもらう立場だったけど、子供たちを楽しませる役だったので、感謝の気持ちと子供たちへ楽しんで貰いたいという気持ちで頑張れたのが嬉しかった」等、感想がありました。

## 祇園祭 V 反省会 ～来年に向けて課題を洗い出し～

京都教会青年部は8月17日に京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都で行なわれた、京都・祇園祭ボランティア21反省会に代表者が参加しました。

7月17日の山鉾巡行では木賊山を担当するとともに、御池新町のボランティア本部でも巡行全体の支援を行ったことを振り返り、来年への引き継ぎ事項を確認しました。この日をもって、当ボランティアの1年の活動は締めくくられることになります。代表者は来年も平日巡行になることから、参加者の募集や声かけのあり方など模索していく様子でした。



## 第13回「ありがとう」コンクール始まる

1日100回ありがとう運動の一環として、今年も「ありがとう」コンクールを開催します。

①応募内容：「ありがとう」の感動を表現したもので、標語・川柳・詩など何でも可

②応募要領：一人一件とし、応募用紙に記入の上、教会1階東玄関に設置の応募箱へ入れるか、メールにて応募。アドレスは [melci@m4.kcn.ne.jp](mailto:melci@m4.kcn.ne.jp) まで。

③応募期間：9月10日（火）～10月13日（日）